

2017年8月吉日

連携コワーキングスペースみどりまち文庫

第1回会員活動報告会 in こまぎの里 開催案内

みどりまち文庫 澪尾利加子

残夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、連携コワーキングスペースみどりまち文庫は2015年8月オープンより、医療と地域をつなぐサードプレイスを目指し運営しています。様々な皆さまに興味を示していただき会員数は延べ55名、イベント開催数は80回を超えるました。ひとえに、会員および関係者の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝いたします。この度、会員主催イベントや活動を広く知っていただく機会として会員活動報告会を実施する運びとなりました。ぜひ多くの皆様からのご参加、応援をお願いいたします。

記

1. 名 称 連携コワーキングスペースみどりまち文庫第1回会員活動報告会
2. 開催日時 2017年9月10日(日) 14:00~16:40
3. 会 場 庄内おばこの里こまぎ 2F 和室
山形県鶴岡市日枝字小真木原88-1 電話 0235-35-0234
4. 参加対象 興味をお持ちの方はどなたでも
5. 参加料金 500円
6. 申込方法 FAXの場合・・下記申込欄に記入しFAX:0235-26-8780にお送りください。
Mailの場合・・所属、氏名など下記申込欄の内容を[coworking@midorimachi.net]に送信してください。
7. 申込締切 2017年9月1日(金)
8. 問い合わせ みどりまち文庫 鶴岡市みどり町17-15 電話090-1558-1715(担当:瀧尾)
9. そ の 他 17:00~懇親会を行いますので、ぜひご参加ください。
会 場 庄内おばこの里こまぎ 3F
参加費 3000円+ドリンク代(アルコール有の方1000円・無の方500円)
以上

お申込み欄

【所属:】連絡先【メールか電話番号:】

※参加するものに○を記入ください。

氏 名	報 告 会	懇 親 会
		アルコール 有・無
		アルコール 有・無
		アルコール 有・無

みどりまち文庫会員報告会 in こまぎの里

イベントページのQRコードはこちら→



報告者の紹介

1. 社会連携のめざすもの

鎌田剛 東北公益文科大学准教授

地域の企業や団体と医療・介護の分野が、それぞれの得意なスキル活かす「社会連携」は、人口減・少子高齢地域における“三方よし”な活動です。報告会のイントロダクションとして、その意義について共有します。

2. なぜ妄想が、夢に変わり、さらに実現できたのか？～健康ごはんの軌跡と今後～

栗原智広 日本調剤若葉薬局所属

過去：会社勤めの薬剤師の妄想を、実現導いた鶴岡市の仕掛けと人

現在：社会連携の実践が自分に与えた力と怖さ

未来：まちづくりに定着させる挑戦

3. みどりまち文庫発・食支援「チームつるおか」

小川豊美 (株) とよみ 代表取締役

当初プライベートセミナーは管理栄養士に向けた訪問栄養指導のスキルアップを目指したものでした。しかし県内外からの多職種の参加とのデイスカッションで、自分自身も豊富な知識を得ることができるセミナーとなりました。

4. 社会にとっての「筋肉の可能性」(つながりは共通点から生まれる)

伊藤祐輔 P O W E R G A T E 代表

健康的な日常を過ごすための学び、「食育」と「体育」のコラボ「健康元気塾」。

それに、体を変えれば更年期が変わる。「筋トレ（体）」と「会話（心）」のセット「JJ（ジョサネ女子）」。今回は、2つの活動の内容と、個人の健康の枠を超えて、社会にとっての筋肉の魅力と可能性についてお話しさせていただきます。（「お笑い」も少しあります）

5. 大人の部活動という異業種交流

伊藤和佳 紅茶部部長

「鶴岡に紅茶が飲める所が少ないよね？」と言う、ちょっとした会話から、私達でやってみようと思われた紅茶部です。どんな方が集まるかもわからず始めましたが、性別・年代・生まれも職業もばらばらな部員が、紅茶をキーワードに交流を重ねています。

6. 母親を看取って学んだ認知症を理解する市民参加型「ペンギンカフェ」へ

鷲田良平 認知症の人と家族の会 山形県支部世話人

認知症の母を介護する日々、とにかく看取るまで家族が耐え抜くことが認知症介護だと思った。認知症を支援する団体が存在することを介護の末期になってやっと知った。そして、市民と医療や福祉の専門家が気軽に話し合いができる場「ペンギンカフェ」を立ち上げた。

7. うたって♪元気～心と体とアタマのために

田中 宏 Office♪FON 代表

健康寿命を伸ばして、平均寿命との差を縮めたい！心と体とアタマを健やかに保つため、適度な運動&知的活動=「歌う」のがお勧めです♪

8. レクリエーション介護士が介護現場に笑顔を広げる

江藤幸子 日本アクティブコミュニティ協会

自分の趣味・特技を活かしながら、アイデアや着眼点によって高齢者に喜ばれるレクリエーションを提供できる人材がレクリエーション介護士です。

9. 医療×〇〇はどのようにうみだされたのか

瀬尾利加子 みどりまち文庫

その夢やアイデアを具現化できるか。みどりまち文庫の会員間で起きたコラボレーションの仕組みを簡単にご紹介。

※他 展示ブース 体験型ゲーム（斎藤博 ほわっと代表）も計画しております。

連携コワーキングスペースみどりまち文庫

第1回会員活動報告会 in こまぎの里

プログラム

総合司会 濑尾・鎌田

14:00 挨拶

14:05 報告① 社会連携のめざすもの

鎌田剛 東北公益文科大学准教授

14:20 報告② なぜ妄想が、夢に変わり、さらに実現できたのか？

～健康ごはんの軌跡と今後～

栗原智広 日本調剤若葉薬局所属

14:35 報告③ みどりまち文庫発・食支援「チームつるおか」

小川豊美 株式会社とよみ代表取締役

14:50 報告④ 社会にとっての「筋肉の可能性」(つながりは共通点から生まれる)

伊藤祐輔 POWER GATE 代表

15:05 報告⑤ 大人の部活動という異業種交流

伊藤和佳 紅茶部部長

15:15 休憩

15:35 報告⑥ 母親を看取って学んだ認知症を理解する市民参加型「ペンギンカフェ」へ

鷲田良平 認知症の人と家族の会 山形県支部世話人

15:50 報告⑦ うたって♪元気～心と体とアタマのために

田中宏 Office♪FON 代表

16:05 報告⑧ レクリエーション介護士が介護現場に笑顔を広げる

江藤幸子 日本アクティブコミュニティ協会

16:20 報告⑨ 医療×○○はどのようにうみだされたのか

瀬尾利加子 みどりまち文庫担当

16:35 閉会の挨拶

16:40 終了

17:00 懇親会